

2025

9

まちのスケジュール

📖 教育 + 健康・保健 ★ 文化・体育 ◆ その他

1 月	◆ 国民健康保険料納期限 ◆ 後期高齢者医療保険料納期限 📖 赤名小始業式
2 火	
3 水	+ 子宮がん検診(午前:保健福祉センター 午後:さつき会館)
4 木	
5 金	
6 土	◆ 親子で防災キャンプ(赤名改善センター)〈～7日〉
7 日	📖 頓原中サマーコンサート(みせん)
8 月	
9 火	
10 水	+ オレンジカフェ(交流センターとんぼら) ◆ 行政相談(さつき会館)
11 木	★ 志々グラウンドゴルフ大会(さくら広場)
12 金	
13 土	📖 中学校体育祭
14 日	
15 月	敬老の日
16 火	+ オレンジカフェ(赤名福島邸)
17 水	
18 木	+ 1歳6か月児・3歳児健診(保健福祉センター)
19 金	+ 乳がん検診(来島交流センター)
20 土	📖 小学校運動会(頓原小、来島小) ★ 志々地区合同体育大会(志々山村広場)
21 日	◆ しまね家庭の日
22 月	+ 乳がん検診(来島交流センター)
23 火	秋分の日 ◆ 琴引山チリケ封じ登山
24 水	
25 木	📖 赤名小運動会
26 金	◆ はびご無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制 ★ オレンジカフェ(つがが工房)
27 土	◆ みんきじカーニバル(来島交流センター)
28 日	★ 赤名町民体育大会(赤名小学校庭) ★ 和太鼓&篠笛の世界(来島交流センター)
29 月	
30 火	◆ 国民健康保険料納期限 ◆ 後期高齢者医療保険料納期限

〈毎週火・水・金曜日〉 + ほっと。Café(来島保健センター)

町の人口 4,288人(前月比-9人) 世帯数1,984戸 R7.8.1 現在



「ずっと同じ場所にいると、その良さが見えなくなる」と、海外旅行に出かけるなど、常に新しい視点を持つことを意識している田中さん。鳥根で働きはじめてから、学生時代の恩師を取材する機会や、お世話になった人との再会があつてうれしいと話します。

TSKさんいん中央テレビの報道記者として、県内各地を飛び回っている田中祐一朗さん(29歳)。取材、原稿執筆、映像編集、中継など記者の業務は多岐にわたり、カメラマンなど他のスタッフと協力しながら、ニュース映像を作り上げていきます。

「地元の事って知っているようで知らないことも多い。ニュースを通して新たな発見があるような番組づくりを心がけています」と話します。田中さんは飯南高報道部で部長を務め、NHK全国高校放送コンテストや、全国高等学校総合文化祭で幾度も全国大会へ出場した経験を持ちます。映像制作を仕事にしたいと思ったのも、報道部の経験が原点だといいます。「取材を通して色んな人に会えるのが楽しい。作品を通して人に何かを伝えるということも、素敵なことだと感じています」と映像制作の魅力を語り

ます。取材で飯南町を訪れることもあるという田中さん。「過去の記憶や、地域の今を残すことが報道の使命。記者として、これからも飯南町の話題を取り上げたいと思っています」と意気込みます。将来的にはバラエティ番組の制作も手掛けてみたいと田中さんは話します。「TSKさんいん中央テレビはバラエティ番組にも力を入れている。番組を通して地元へ貢献し、地域を盛り上げることに挑戦したい」と目標を語りました。

「ルーツいいなん 49」
このまちに住んでいようと、なからうは飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介しします。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

原点は飯南高報道部



たなか ゆういち ろう
田中 祐一朗

頓原出身、飯南高卒業。大阪の大学に進学後、在学中からテレビ番組制作等に携わる。2023年に山陰中央テレビジョン放送(株)に入社。ニュース制作局に所属し、記者として活躍中。

今日の表紙

7月14日に赤来中学校で開催された「赤ちゃん登校日」。赤ちゃんとのふれあいを通して、小さな命に感動する心や、生きる勇気を感じ、育むことが目的です。

最初はぎこちなく赤ちゃんに触れていた生徒たちも、最後には名残惜しうに代わる代わる抱っこしていました。



飯南町公式SNS

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか



マチイロ